

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和4年度 上半期(4月~9月) の管理運営状況)
年間 (4月~3月))

施設名	希望の家・ひばり分室	指定管理者	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会
指定期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで	担当課	障がい者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	243	243	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	4,860	4,320	88.9%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	243	243	100.0%
		自主事業 (回)	-	-	%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	15,180,000	15,180,532	100.0%
		自立支援費収入 (円)	46,575,000	45,110,369	96.9%
		自主事業収入 (円)	-	-	%
		その他の収入 (円)	896,000	414,844	46.3%
	収入計 (円) …①		62,651,000	60,705,745	96.9%
	支出	人件費 (円)	48,446,000	48,644,654	100.4%
		維持管理経費 (円)	10,690,000	8,424,902	78.8%
		自主事業関係経費 (円)	-	-	%
		その他の支出 (円)	3,515,000	2,873,330	81.7%
	支出計 (円) …②		62,615,000	59,942,886	95.7%
	収支 (①-②) (円) …③		0	762,859	%
	諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	%
総収支 (③-④) (円)		0	762,859	%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】	【事業の実施状況について】	【収支状況について】
<p>開所日数については、希望の家・ひばり分室ともに計画どおりであった。</p> <p>利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の欠席等により、令和4年度の計画比率は88.9%となっている。</p> <p>希望の家及びひばり分室の利用者数は、両施設とも定員を満たしていないため、積極的に実習生の受け入れを行った。希望の家、ひばり分室ともに1人ずつの実習を行い、その後入所し、2人増となったが、本年1月に希望の家の利用者が1人転出したため、年度の増減としては、1人増となった。</p>	<p>利用者全員の個別支援計画を作成し、利用者一人ひとりに合った支援を行っている。</p> <p>また、保護者と面談を実施し、情報の共有を図りながら、利用者へ適切な支援の取組を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができなかった事業もあったが、日々の活動においては、感染防止対策を徹底し、充実した活動になるように取り組んでいる。</p>	<p>自立支援費収入については、サービスの提供から2か月後に給付されることや、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の欠席等により、収入が減少する傾向にあり、令和4年度上期としては、収支として△3,721,722円の赤字であった。</p> <p>年度末を迎え、令和4年度としての計画比率は96.9%となり、収支としては、762,859円の黒字に転じた。</p>

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】</p> <p>開所日数は、希望の家・ひばり分室ともに計画どおり実施できている。</p> <p>利用者数の比率は88.9%となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の欠席のため、やむを得ないものと受け止めている。</p> <p>また、実習生の受け入れを行い、その後、入所につながっていることは評価できる。</p>	<p>【事業の実施状況について】</p> <p>個別支援計画に基づき利用者個々に応じた支援を行っている。</p> <p>また、保護者と定期的な面談を実施し、日々の生活状況や支援時の配慮が必要な点などの情報を共有し、利用者や保護者から継続して通所したいとの意見があることは評価する。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、中止となった行事が多かったことはやむを得ないものと受け止めている。</p>	<p>【収支状況について】</p> <p>年間利用者数が計画より少ないことから、収入は計画の96.9%となったが、引き続き、事業継続に支障が出ないよう今後も適切な収支の管理をお願いする。</p>
--	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、連絡帳、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	昼食代、各行事参加費等実費に係る徴収を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	衛生管理・感染症対応マニュアル、災害時初動マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	重要事項説明書	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、連絡帳、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	保護者会や連絡帳等を通じた意見、要望等を管理運営に反映している	連絡帳等	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページ、フェイスブックなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ、フェイスブック	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	18人 人員配置計画、実地、出勤簿	18人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	8月実施 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	20% 人員配置計画	29.3% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善

個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>利用者の日中活動については、毎日の検温、手指消毒やマスクの着用等を徹底しながら、職員間で利用者の情報の共有を図り、一人ひとりの状況に合わせた適切な支援に努めた。</p> <p>また、施設内や送迎車内をアルコール等で清掃し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の取組を行った。</p> <p>定期的で開催している保護者会と毎日交換している連絡帳により意見や要望等を把握し、サービスの向上と日中活動の支援に役立て利用者や保護者との信頼関係を築いた。</p> <p>安全性への配慮では、看護師等の専門職を配置していることから、利用者一人ひとりの健康管理や相談などを受け入れる体制が整っていた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、引き続き利用者及び保護者の理解をいただきながら継続していく予定だが、令和5年度からの新型コロナウイルスが第2類から5類となることを受け、国や都、あきる野市の動向により、適切な対応を取る予定である。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、閉所することなく、日中活動の場を提供することができた。</p> <p>また、利用者や保護者に対しては、定期的な面談や保護者会、連絡帳のやりとりにより、情報共有を行い適切な支援につなげていた。今後もこれまでと同様の支援を継続し、利用者が安心して利用できるよう努めてください。</p> <p>令和4年度は、第三者評価を受審しており、評価総評の良かった点としては「重度の利用者を受け入れ、様々な活動や支援を提供し、地域のニーズに応えている」、「日々の記録について、利用者の特性に合わせた書式を採用しており、支援内容の充実を図っている」等の点が挙げられた。これらについては、引き続き継続をお願いしたい。</p> <p>また、職員の育成や事務の効率化などの課題については、今後、改善等に取り組んでください。</p>